

令和5年度 明石市地域自立支援協議会

こども部会 リポート Vo1.20 令和6年1月15日

発行元：明石市地域自立支援協議会 こども部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

児童通所サービス等事業所連絡会 活動報告



*今年度9月～12月までの「児童通所サービス等事業所連絡会」開催状況をご報告します。

第5回【令和5年9月19日（火）】

◎ワンポイントレッスン①

「就学相談および措置変更について・進路について」

明石市教育委員会事務局 学校教育課 中村 恵子 氏

- ・「就学相談」の流れについての詳しく説明がありました。
- ・措置変更や、中学校卒業後の進路についてのお話もいただきました。

◎ワンポイントレッスン②

「いなみ野特別支援学校 学校紹介」

いなみ野特別支援学校 支援部 部長 飯塚 由美子 氏

- ・特別支援学校の就学基準についてについて、小学部・中学部・高等部の在籍児童数、それぞれの学部目標や主な学校行事の説明がありました。
- ・放課後等デイサービスとの連携状況や、卒業後の進路状況についてもお話がありました。

◎情報共有・意見交換

- ・不登校児が増加していること、自宅以外の活動範囲が広がらない。
- ・児童のヘルパー利用や移動支援が活用しにくい制度状況になっている。などの意見が挙がりました。その他各事業所で開催される勉強会やイベントの紹介がありました。

「選択する目的」

「本人の意思」



「就労まで見据えた
進路選択」

テーマ：“障がい特性に沿った環境整備について”



第6回【令和5年10月17日（火）】

◎ワンポイントレッスン

「保護者の声、その思い」～放課後等デイサービス等の困りごと・生活上の課題～

障がいのある子どもの保護者の会「らくらく」鈴木氏 西川氏 森脇氏

- ・放課後等デイサービスを利用して良かったこととして、その子に合った療育が受けられることや、重心児も受け入れてくれる放デイがあることに感謝している、親子で参加できるプログラムも考えてもらっている。などのお話がありました。

- ・一方で、放デイ利用の際に困ったこととして、子どもの特性を説明しても理解・対応してもらえなかったこと、医療的ケアが必要な児に対応できるバリアフリー等の環境が整った事業所が少ないこと、連絡帳に記載した事項が伝わらない。 などのお話もありました。
- ・その他、制度面で移動支援、福祉用具の貸与や支給の範囲拡大や、重心児のショートステイ先の確保、学校入学時の丁寧な引継ぎについての困りごとに対する要望をお話いただきました。

◎情報共有・意見交換

参加した事業所のみなさんから、「保護者様の声を具体的に聞く機会となりともて参考になった」「早速本日聞いた内容を支援の参考にしたいと思った」との感想が聞かれました。

テーマ：“保護者の声、
その思い”



第7回【令和5年11月21日（火）】

◎ワンポイントレッスン

「事業所における防犯（不審者）対応について」

明石警察署生活安全第一課防犯係 井川 良平 氏 藤田 賢 氏

さすまたの使い方の説明の後、護身術の体験を、2人1組になり行いました。

「防犯対策」について
改めて考えるきっかけ
にもなりました」

◎情報・意見交換

- ・各事業所で行っている防犯対策や日ごろ気を付けていることの情報共有をおこないました。
- ・情報発信ワーキングより、児童通所サービス等ガイドブックの内容更新について、各事業所より事業所情報の回答の依頼と説明がありました。



第8回【令和5年12月12日（火）】

◎ワンポイントレッスン

「サポートノートについて」

明石市立発達支援センター 担当相談係長 山内 幸恵 氏

- ・サポートノートかけはしについての説明と、活用方法、具体的な記入の仕方や事業所が記載する際のポイントについて説明がありました。
- ・個人ワークとして、実際にサポートノート数ページを記載してみました。
- ・グループワークにて、実際に記入してみての感想や、事業所で今後できることを共有しました。

◎情報・意見交換

- ・情報発信ワーキングより、ガイドブック更新のための事業所情報が未回答の事業所への回答協力の呼びかけがありました。
- ・来年度の「児童通所サービス等事業所連絡会」のワンポイントレッスンの内容と、連絡会の内容について参加者アンケートを実施しました。
- ・各事業所で開催している勉強会やイベントの紹介がありました。

“本人が過ごしやすい環境
支援の手がかりに”



本人のいいところも
保護者と共有でき
ればいいなあ～